



水道料金は、どんなふうに使われているの？

安全な水道水をお届けするための費用や、水道の施設を建設、維持管理するための費用など、水道事業に係る費用は、皆さんが市役所へ納めていただいた市民税などの税金ではなく、水道水の使用量に応じてお支払いいただいた水道料金で賄われています。

水道料金がどのようなことに使われているのか、見てみましょう！



安全な水道水をつくるには、浄水場はもちろん、毎日市内55カ所(上水道37カ所、簡易水道18カ所)の蛇口で色や濁りがなく安全であるか検査しています。

また、そのほかにも水源で13項目、浄水場や公園の蛇口で51項目の水質検査を定期的に行っています。

徹底した水質検査で安全な水道水をお届けしています！

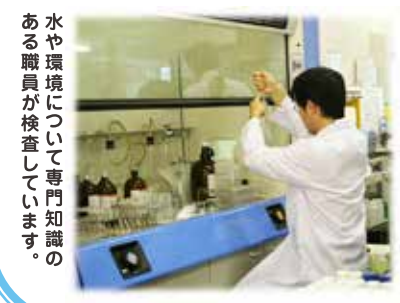
浄水場では、365日休みなく安全な水道水をつくり、皆さんのご家庭にお届けしています。

市之井手浄水場の中央管理室では、皆さんがいつでも水道を使えるように、浄水場の設備などが正常に動いているか、24時間監視しています。



中央管理室では市内の水道施設を監視制御しています。

安全な水道水がいつでも使えるように24時間監視しています。



水や環境について専門知識のある職員が検査しています。



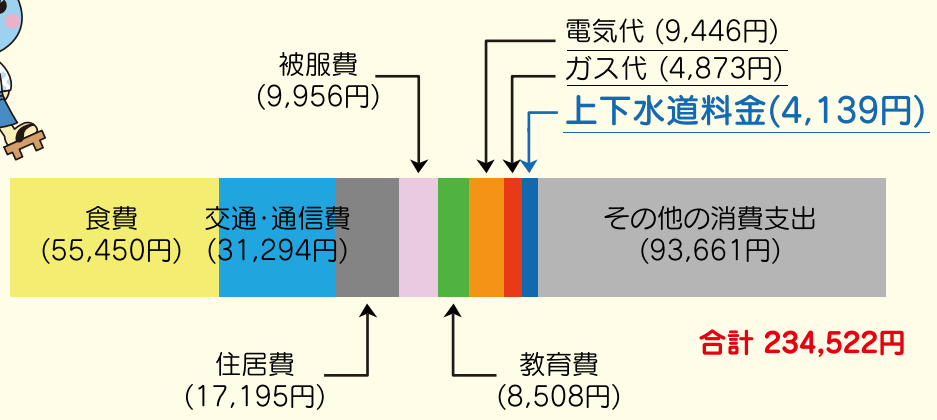
市内全ての水道管の水漏れを調べています。

地面に埋まった水道管から水漏れしていないか、機械を使って調査し、水漏れがあった場合は修繕を行うことで、水道水のムダをなくすとともに、漏水事故を未然に防いでいます。

また、万が一、漏水などが起こった場合も、速やかに修繕ができるよう24時間365日いつでも対応できる体制をとっています。

蛇口をひねるといつでも水道が使えるよう水道管などの維持管理に努めています！

上下水道料金が家計に占める割合は1.76%だよ！



家計の中の水道料金

意外と安い!?

出典：総務省「家計調査年報(家計収支編) 平成26年(2014年)」1世帯当たり1カ月の消費支出(松山市)



地震に強い水道管に取り替えています。

阪神淡路大震災や東日本大震災では、水道も大きな被害を受け、断水により、市民生活に大きな影響を及ぼしました。

そのため、松山市公営企業局では地震などの災害に備えて、浄水場・配水池・水道管などの耐震化を進めています。

地震に備えて、水道の施設の耐震化を進めています！

